

マンスリータイムズ

和歌山県立新宮高等学校
平成27年度(2015年)8月版

オープンスクール

～ 中学生279名が参加 高校を体験 ～

平成27年度中学3年生対象オープンスクールを8月4日(火)に開催しました。本校の学習内容や学校生活を体験し理解を深め、中学生の進路選択に役立てて欲しいと実施している。今年度は279名が参加し、合唱部の歓迎合唱、学校長挨拶の後、12科目の体験講座から希望の講座を選び受講。また、午後からは、体育クラブ・文化クラブの活動見学や施設見学を実施しました。

9月の行事予定

4日(金)・5日(土) 彩雲祭

9日(水) 1学年キャリアゼミナール

18日(金) 2学年キャリアゼミナール



三重大学と京都大学へ見学会

～ 大学の講義を体験 進路意識の高揚に ～

8月11日、三重大学の見学会に1年43名・2年13名・3年2名が参加しました。それぞれの進路希望に合わせて、工学部・教育学部に分かれ、学部紹介や体験授業を受講した。また、生物資源学部・医学部看護学科・人文学部の説明会にも参加し、視野を広げた。

20日には京都大学のサマースクールに1年生の24名が参加しました。このサマースクールは生徒たちが研究の最先端に触れることにより、探究心を育て、知的創造力が向上することを目指して行なわれており、生徒たちは希望の学部に分かれて、学生との座談会や各講義室で約80分間の模擬授業を体験し、進路選択に向け貴重な時間を過ごした。

いずれも遠方であり、早朝に出発し、21時過ぎの帰校と大変ハードな日程でしたが、大変さ以上に得るものが大きかったものと確信している。



夏季休業を終え、授業が再開

～物事の本質を見極めるために、語彙力・読解力・考える力～

8月24日に夏休み明けASを実施しました。

校歌斉唱の後、畑校長は「今年は第二次世界大戦終戦から70年。人の一生に近い年月が経っても戦争への理解は定まっていないとあらためて明らかになった。日本人として戦争のことを記憶し続けなければならないと思う。また、歴史を正しく理解するためには教養が必要であり、今が教養を身に付ける時期。世界を理解し、物事の本質を見極めるためには、幅広い語彙力、読解力、考える力が必要である。高校生活で完成させて欲しい。」と講話するとともに、夏休みの補習やクラブ活動への取り組みを称え、9月に予定されている彩雲祭について「新宮高校の良さを地域の人に紹介する絶好の機会。良い取り組みになるよう期待します。」と、また、3年生に対し「進路本番。最後まで諦めず実力を伸ばしきり、希望進路を実現して下さい。」と激励し、より一層充実した高校生活を送るよう求めた。

